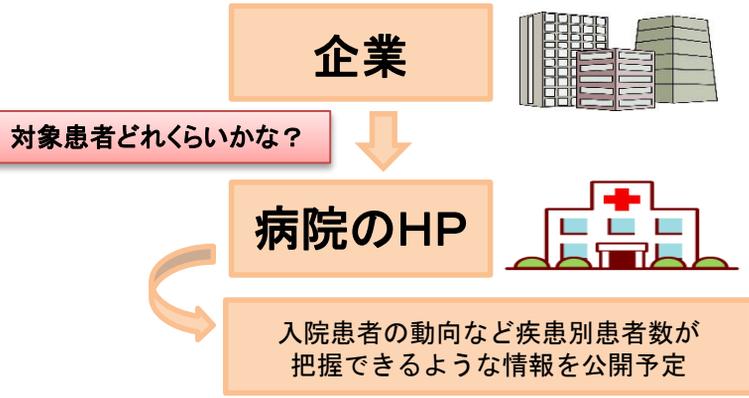




当院での治験受託数を増加させるため、治験依頼者から実施施設として選定・依頼される必要があります。今回は院内体制整備の一例をお知らせします。

1. ホームページへの医療統計情報の公開(疾患別患者数等)



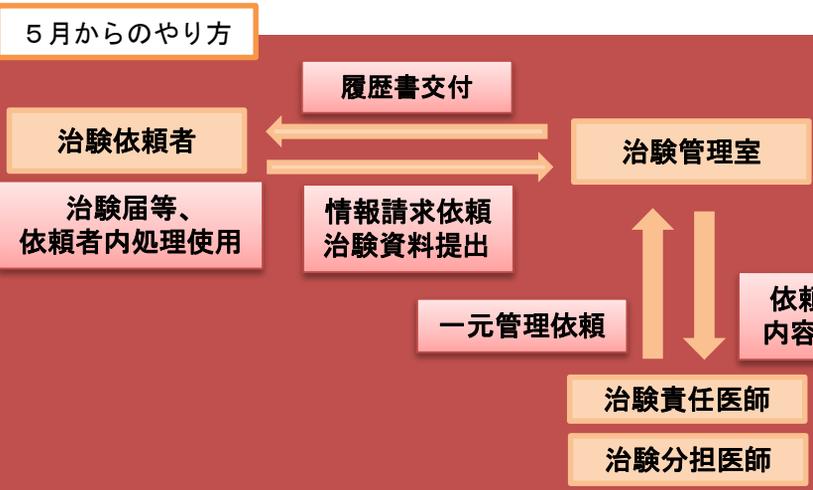
企業側が治験を依頼する際、対象患者がどれくらいいるかを把握するためにHPより病院の情報を取得しています。対象患者が多いと治験の候補も多いということになります。

症例集積数が最大の判断材料

2. 治験管理室による試験に参加する医師の履歴書管理



治験管理室では準備段階で必須となる責任医師の履歴書を本人から直接もらうようアナウンスしてきました。(分担医師は不要な場合あり)



これから

治験管理室で履歴書の一元管理を行い、あらかじめ**賛同得られた診療科に限り**定められた期間内であれば治験相談の段階で治験管理室から依頼者へ履歴書を交付する。

依頼者へ提供済み報告
内容照会は**年1回**を想定

治験に参加する医師の負担軽減へ

新メンバー紹介!



治験コーディネーター 清野 望さん
今年度より治験管理室へ配属になりました清野です。初めて見るものや聞くことばかりで緊張の毎日です。先輩方にご指導いただきながら笑顔で頑張っていきたいと思っております。外来、病棟へ伺った際は、よろしくお願い致します。



治験事務局 成田 静哉さん
今年度より治験管理室配属となりました成田です。慣れない業務に困惑しながら仕事をしています。少しでも早く業務になれるよう日々精進してまいりますので、よろしくお願い致します。